



2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越
コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 釣賀 正信 (TEL) 03-5568-5210
四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	103,792	△18.4	2,636	△64.8	1,606	△75.7	445	△89.4
2019年11月期第2四半期	127,165	2.0	7,481	△7.8	6,604	△6.6	4,212	△6.3

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 △3,853百万円(ー%) 2019年11月期第2四半期 581百万円(△73.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	18.29	ー
2019年11月期第2四半期	169.51	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	304,463	118,081	36.7
2019年11月期	300,751	124,797	39.3

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 111,681百万円 2019年11月期 118,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	ー	0.00	ー	100.00	100.00
2020年11月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2020年11月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2020年11月期の期末配当予想額につきましては、現時点で未定であります。

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△23.7	3,500	△73.8	2,200	△82.0	800	△90.3	32.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期2Q	24,919,343株	2019年11月期	24,919,343株
② 期末自己株式数	2020年11月期2Q	587,155株	2019年11月期	473,305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期2Q	24,383,965株	2019年11月期2Q	24,848,855株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、（添付資料）3ページ「（3）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患されている方々には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者や生活インフラを支えるため尽力されている皆様に深く感謝いたします。

当第2四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く環境は、米中通商問題の影響に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済が急速に減速し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、国内外での新規開拓や、画期的な新商品の市場投入などによる受注・売上の確保にとり組んでまいりました。また、中長期的な業容の拡大と、足下の収益構造の改善に向けて、営業・開発体制の強化、生産の合理化などを進めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が、国内外で自動車や産業機械分野に大きく波及したことにより、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、1,037億92百万円(前年同期比18.4%減)、このうち、国内売上高は564億33百万円(同18.5%減)、海外売上高は473億59百万円(同18.3%減)となりました。利益面につきましても、売上高減少に伴う操業度の低下などにより、営業利益は26億36百万円(同64.8%減)、経常利益は16億6百万円(同75.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億45百万円(同89.4%減)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業では、工具・ロボットを中心とした新商品の投入や工作機械の大型案件があったものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済減速の影響を受け、売上高は356億2百万円(前年同期比21.7%減)となり、営業利益は11億61百万円(同66.6%減)となりました。

部品事業では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車分野・産業機械分野での減産の影響などにより、売上高は609億59百万円(前年同期比15.7%減)、利益面では、原材料価格の高騰等の影響もあり、営業利益は10億18百万円(同65.9%減)となりました。

その他の事業では、原材料価格の下落に伴う特殊鋼の販売価格の引き下げなどにより、売上高は72億30百万円(前年同期比22.9%減)、営業利益は4億11百万円(同59.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、3,044億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億12百万円増加しました。主として、現金及び預金が198億68百万円増加し、受取手形及び売掛金が109億30百万円、たな卸資産が14億11百万円、投資有価証券が19億71百万円減少しております。

負債合計は、1,863億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億27百万円増加しました。主として、新型コロナウイルス感染症拡大への対策として借入金が243億6百万円増加し、支払手形及び買掛金が109億60百万円、未払法人税等が8億6百万円減少しております。当第2四半期連結会計期間は、新型コロナウイルス感染症の流行が世界的に拡大するなか、手元流動性を高めるため、新たに借入を実行し預金残高を積み増しております。また、コミットメントライン契約100億円を追加で締結し、不測の事態による流動性リスクに備えております。なお、既存の契約と合せたコミットメントラインの総額は300億円であります。

純資産合計は、1,180億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億15百万円減少しました。主として、利益剰余金が21億86百万円、その他有価証券評価差額金が10億95百万円、為替換算調整勘定が30億60百万円減少しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は66億78百万円(前年同期比28億28百万円減)となりました。これは、主として、税金等調整前四半期純利益12億98百万円、減価償却費84億66百万円、売上債権の減少97億27百万円、投資有価証券評価損2億73百万円などにより資金が増加し、仕入債務の減少99億60百万円、法人税等の支払額16億6百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は71億38百万円(前年同期比40億62百万円減)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出であり、前年に比べ設備投資を抑制しております。

財務活動により獲得した資金は214億93百万円(前年同期比201億31百万円増)となりました。これは、主として借入金の純増額247億57百万円により資金が増加し、配当金の支払額24億84百万円、自己株式の取得による支出6億24百万円により資金が減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は405億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ204億16百万円の増加となりました。

(3) 今後の見通し

2020年11月期の連結業績予想につきましては、2020年1月15日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日発表いたしました「2020年11月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,512	41,380
受取手形及び売掛金	56,777	45,846
商品及び製品	26,377	26,886
仕掛品	15,843	14,261
原材料及び貯蔵品	17,080	16,740
その他	4,381	4,314
貸倒引当金	△41	△38
流動資産合計	141,930	149,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,466	30,262
機械装置及び運搬具(純額)	68,087	66,694
その他(純額)	18,284	18,169
有形固定資産合計	116,838	115,126
無形固定資産	3,144	3,028
投資その他の資産		
投資有価証券	25,697	23,726
退職給付に係る資産	8,200	8,240
その他	4,951	4,956
貸倒引当金	△12	△7
投資その他の資産合計	38,837	36,915
固定資産合計	158,820	155,070
資産合計	300,751	304,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,906	40,945
短期借入金	11,350	35,397
1年内返済予定の長期借入金	24,222	23,343
未払法人税等	1,595	789
その他	15,804	13,503
流動負債合計	104,879	113,979
固定負債		
長期借入金	50,810	51,949
役員退職慰労引当金	22	22
退職給付に係る負債	10,501	10,479
その他	9,739	9,950
固定負債合計	71,074	72,402
負債合計	175,953	186,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,252	11,222
利益剰余金	88,297	86,111
自己株式	△2,269	△2,451
株主資本合計	113,354	110,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,265	10,169
為替換算調整勘定	△5,825	△8,886
退職給付に係る調整累計額	△561	△558
その他の包括利益累計額合計	4,878	724
非支配株主持分	6,563	6,399
純資産合計	124,797	118,081
負債純資産合計	300,751	304,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
売上高	127,165	103,792
売上原価	99,595	83,188
売上総利益	27,569	20,603
販売費及び一般管理費	20,087	17,967
営業利益	7,481	2,636
営業外収益		
受取利息	69	42
受取配当金	285	264
持分法による投資利益	27	—
その他	448	323
営業外収益合計	830	630
営業外費用		
支払利息	485	459
売上割引	292	257
為替差損	515	568
持分法による投資損失	—	29
その他	414	344
営業外費用合計	1,707	1,660
経常利益	6,604	1,606
特別利益		
固定資産売却益	3	3
関係会社株式売却益	—	9
特別利益合計	3	13
特別損失		
固定資産売却損	2	3
固定資産除却損	87	44
投資有価証券評価損	443	273
特別損失合計	533	321
税金等調整前四半期純利益	6,074	1,298
法人税、住民税及び事業税	1,803	654
法人税等調整額	△68	153
法人税等合計	1,734	808
四半期純利益	4,340	489
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,212	445

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	4,340	489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,517	△1,129
為替換算調整勘定	△2,235	△3,191
退職給付に係る調整額	25	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	△23
その他の包括利益合計	△3,758	△4,343
四半期包括利益	581	△3,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	690	△3,707
非支配株主に係る四半期包括利益	△108	△145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,074	1,298
減価償却費	8,163	8,466
のれん償却額	54	52
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	219	81
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	△39
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	0
受取利息及び受取配当金	△354	△306
支払利息	485	459
持分法による投資損益(△は益)	△27	29
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	0
有形固定資産除却損	87	44
投資有価証券評価損益(△は益)	443	273
売上債権の増減額(△は増加)	△144	9,727
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,513	177
仕入債務の増減額(△は減少)	45	△9,960
その他	△2,164	△2,004
小計	11,378	8,293
利息及び配当金の受取額	355	348
利息の支払額	△489	△441
法人税等の支払額	△1,787	△1,606
法人税等の還付額	49	85
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,506	6,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,233	△7,332
有形固定資産の売却による収入	27	12
無形固定資産の取得による支出	△561	△251
投資有価証券の取得による支出	△25	△25
貸付けによる支出	△2	△1
貸付金の回収による収入	2	2
その他	△408	457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,201	△7,138

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,889	24,173
長期借入れによる収入	10,948	13,644
長期借入金の返済による支出	△12,787	△13,060
リース債務の返済による支出	△185	△481
配当金の支払額	△2,484	△2,484
非支配株主への配当金の支払額	△14	△16
自己株式の売却による収入	0	343
自己株式の取得による支出	△4	△624
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,361	21,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△472	△615
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△805	20,416
現金及び現金同等物の期首残高	21,778	20,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,972	40,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則として全てのリースを四半期連結貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において「有形固定資産」の「その他」に含まれる「リース資産」が1,352百万円、「流動負債」の「その他」に含まれる「リース債務」が534百万円、「固定負債」の「その他」に含まれる「リース債務」が830百万円それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の世界規模での感染拡大に伴い、当社グループの主な取引先であります自動車メーカー等におきましても国内外で生産活動が縮小し、当社グループの売上高が減少するなど業績に影響が生じております。

一方で、足もとでは日本を含めた世界各国で経済活動の再開に向けた動きが強まっていることを踏まえ、当社グループでは、当連結会計年度末にかけて徐々に需要は増加に向かうとの仮定を置いて、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年12月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,477	72,304	9,382	127,165	—	127,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,005	517	3,713	5,236	(5,236)	—
計	46,483	72,822	13,096	132,401	(5,236)	127,165
セグメント利益	3,481	2,987	1,011	7,481	0	7,481

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,602	60,959	7,230	103,792	—	103,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	420	484	2,237	3,141	(3,141)	—
計	36,022	61,443	9,467	106,934	(3,141)	103,792
セグメント利益	1,161	1,018	411	2,591	45	2,636

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。